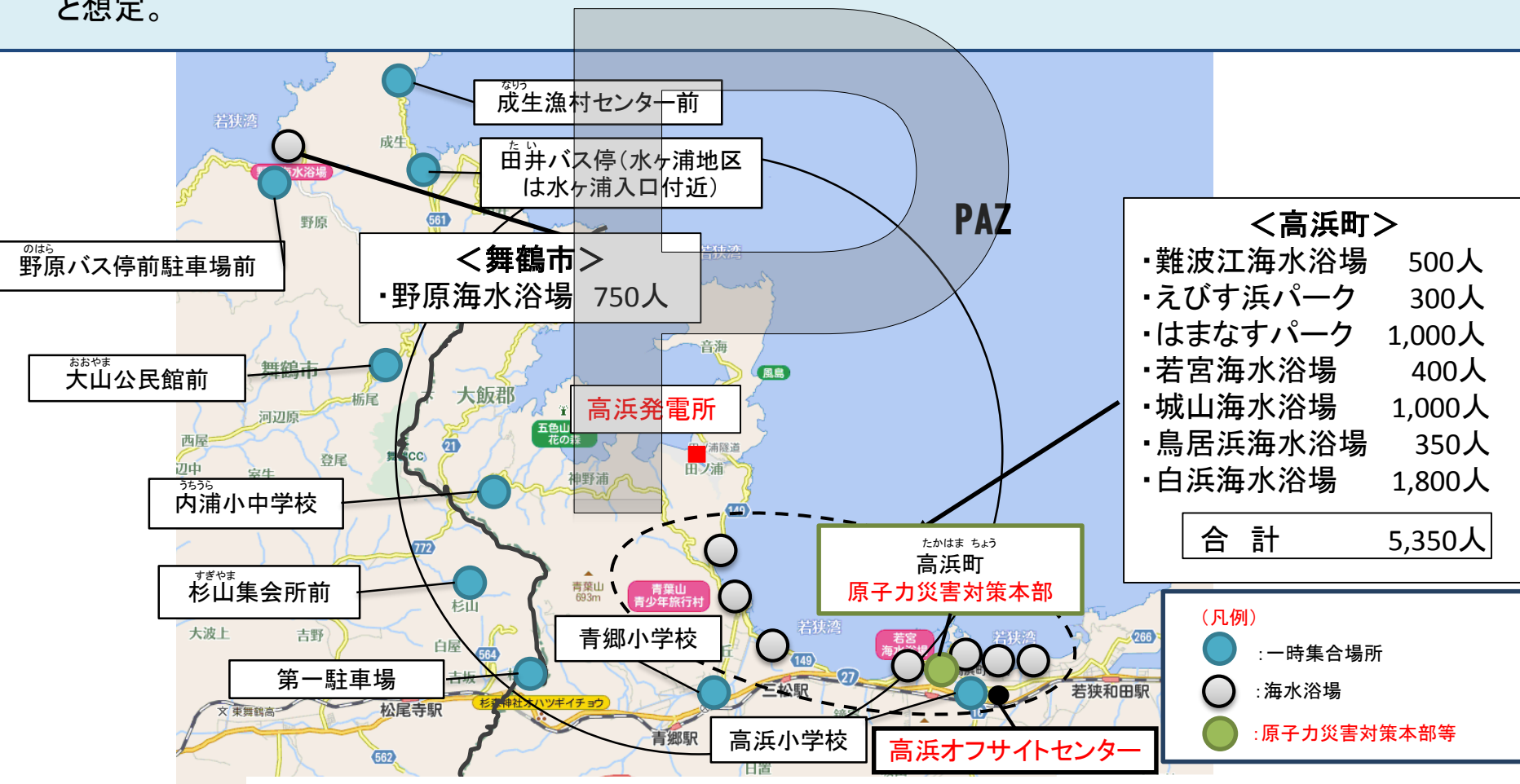


# PAZ内の海水浴場及び入場者の数

- 高浜町ではPAZ内に海水浴場が7か所あり、平成26年度シーズンの1日あたりの最大入込客数は約5,350人。
- 高浜町の海水浴客の交通手段は、対象となる海水浴場周辺の駐車場利用率によると全体の約9割が自家用車利用で、残りの1割が貸切バス及び公共交通機関を利用。(平成26年度観光客入込調査 高浜町)
- 舞鶴市ではPAZに準じた避難を行う地域に海水浴場が1か所あり、1日あたりの想定最大入込客数を約750人と想定。



- **高浜町において**全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計約〇〇〇人分：バス〇台。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知（施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅）。

	想定対象人数 <sup>※</sup>	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	〇〇人	〇台	1台のバスが複数箇所をまわり乗車 1台当り45人程度の乗車を想定 【資料P42】
観光施設から避難する一時滞在者	約〇〇人	〇台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 自家用車や観光バスで来場している者がいる場合は、その分必要車両台数は減少【資料P43】
海水浴場から避難する一時滞在者	約〇〇〇人 (〇〇〇人×0.1)	〇台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの海水浴客約5,350人のうち、約9割が自家用車で訪問している（『平成26年度観光客入込調査 高浜町』）ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。 【資料P44】
<b>合計</b>	<b>約〇〇〇人</b>	<b>〇台</b>	

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

※1 不測の事態により対応できない場合、実動組織（警察、消防、海保庁、自衛隊）に支援を要請

- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		〇台	
(B) 確保車両台数		計〇台	
確保先	バス会社[福井県嶺南地方]	〇台 <sup>※</sup>	保有車両台数 バス173台
	関西電力	〇台	保有車両台数 バス〇台

※ 福井県原子力防災訓練(平成26年度)の実績を参考に、バス会社保有台数のうち1/4程度の出動を見込む

※2 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民〇人分:バス〇台、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計約〇〇人分:バス〇台。

	想定対象人数 <sup>※</sup>	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	〇〇人	〇台	各地区にバス1台を配車 1台当り45人程度の乗車を想定 全住民の1割が自家用車で避難できないと想定【資料P42】
観光施設から避難する一時滞在者	約〇〇人	〇台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 自家用車や観光バスで来場している者がいる場合は、その分必要車両台数は減少【資料P43】
海水浴場から避難する一時滞在者	約〇〇人 (〇〇〇人×0.1)	〇台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの海水浴客約750人のうち、約9割が自家用車で訪問している(『平成26年度観光客入込調査高浜町』を引用)と想定し、その1割を想定対象人数として算入。 【資料P44】
<b>合計</b>	<b>約227人</b>	<b>10台</b>	

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※不測の事態により対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

- 全面緊急事態発生時には、舞鶴市が保有するバスのほか、舞鶴市内のバス会社が保有する車両、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、京都府バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

		確保車両台数		備考
		バス	計	
(A) 必要車両台数			○台	
(B) 確保車両台数			計○台	
確保先	まいづるし 舞鶴市		○台	保有車両台数 バス○台
	まいづるし 舞鶴市内のバス会社		○台	保有車両台数 バス○台(乗合含む) タクシー○台 タクシーを用いた避難が実施できた分必要バス台数は減少
	関西電力		○台	保有車両台数 バス○台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請